



うるま市の文化財 シリーズ②

東恩納博物館跡



沖縄戦後初の博物館として使用されていました。沖縄の文化を在留している外国人に広めようと、軍政府文教部長ハンナ少佐の提言により昭和20年8月に「沖縄陳列館」は開館しました。

翌年4月には沖縄民政府に移管され、「東恩納博物館」と改称されました。昭和28年5月に首里博物館の新築に伴い合併され、現在の沖縄県立博物館の前身となりました。

沖縄諮詢会堂跡



沖縄戦後初の中央政治機構「沖縄諮詢会」の施設として使用されていました。沖縄諮詢会は昭和20年8月、米軍政府に招集された各地区収容所の住民代表が行った投票において、15人の委員が選出され発足しました。昭和21年4月の沖縄民政府発足により、その機能が東恩納に移るまで使用されていました。

文化課 ☎978-7245

羽ばたけ!!

スポーツ少年団

野球

高江洲スパローズ



高江洲スパローズは、18年前に結成され、現在部員40名が所属しています。嘉陽監督、喜久山、金城、知名コーチの指導のもと「明るく、チームワークを大切に」を合言葉に高江洲小学校グラウンドを拠点に活動しており、野球を通して、他チームとの交流も積極的に行っています。

日頃の練習では物静かな子どもたちですが、試合になると突然大声を出してチームが盛り上がります。

これまで出場した大会は、1、2回戦止まりで、いい成績が残せていませんが、今後は地区大会で上位入賞を果たし、県大会に出場することを目標に一生懸命練習に励んでいます。

監督や父母は、メンバー全員が元氣よく、伸び伸びとしたプレーができるようお願い、いろいろな面でサポートしながら、日々頑張る子どもたちを応援しています。

野球

具志川シャークス



具志川シャークスは、創立38年目の歴史あるチームです。神田監督、天願、當山両コーチの指導のもと、「笑顔で行こう、ヒーローは君だ!」をモットーに50名の部員が具志川小学校グラウンドを拠点に練習に励んでいます。また、他チームとの交流試合やスポーツ少年団主催の行事にも積極的に参加しています。

堅実な守備でリズムを作り、波に乗って打線を繋ぎ得点し、全員野球で勝利することがチームの特徴です。

これまで先輩方が、県大会などで優勝を収め、九州大会や全国大会へ出場するなど、輝かしい成績を収めています。そして本年度は、B、Cチームがそれぞれ優勝、準優勝という成績を残しており、これに続くようAチームも頑張ります。

野球を通して団体活動での規律を重んじることを学び、いつまでも挨拶、礼儀、優しさを忘れることなく成長して欲しいと、頑張る子どもたちにエールを送っています。